

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度 技術情報第24号（トルコギキョウ青かび根腐病）について（送付）

トルコギキョウ青かび根腐病について下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしく願いいたします。



なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。

令和6年度 技術情報第24号

県内のトルコギキョウ施設栽培において青かび根腐病の発生が初確認されました。未熟有機物資材の大量投入や過剰な施肥等は、本病の発生を助長することから、適切な肥培管理に努めてください。

1 作物名 トルコギキョウ（リンドウ科）

2 病害名と病原菌の特徴等

- 病害名：トルコギキョウ青かび根腐病（病害虫防除所同定：令和6年12月9日）
- 病原菌：*Penicillium* sp.；CYA培地上で黄色の菌叢を示し、分生子は単胞，球形から楕円形，表面は平滑で2～3 μm，ペニシリは主として複輪生，フィアライドは先端がとがったペン先型（図1）。
- 国内の発生：平成11年に福島県，その後，青森県および岩手県等で確認されている。

3 発生状況と病徴

- 令和6年7月に県内の一部の施設トルコギキョウ2度切り栽培（品種ボヤージュ1型グリーン，エスプリグリーン等）で萎凋・枯死する株の発生が認められた。発病株では，細根が脱落し，根の所々が帯状に褐変していた（図2）。その部分には黄色～青緑色のかびが観察された。また，病原菌の土壌接種により，生育不良が認められた（図3）。

4 防除対策

- 栽培品種間で抵抗性に差異があるので，発生が多いほ場では抵抗性の強い品種を利用する。
- 堆肥は完熟のものを施用し，籾殻等の未熟有機物投入は避ける。多肥条件では発生しやすくなるので，適正な肥培管理を行う。
- 太陽熱を利用した土壌消毒は効果が高い。

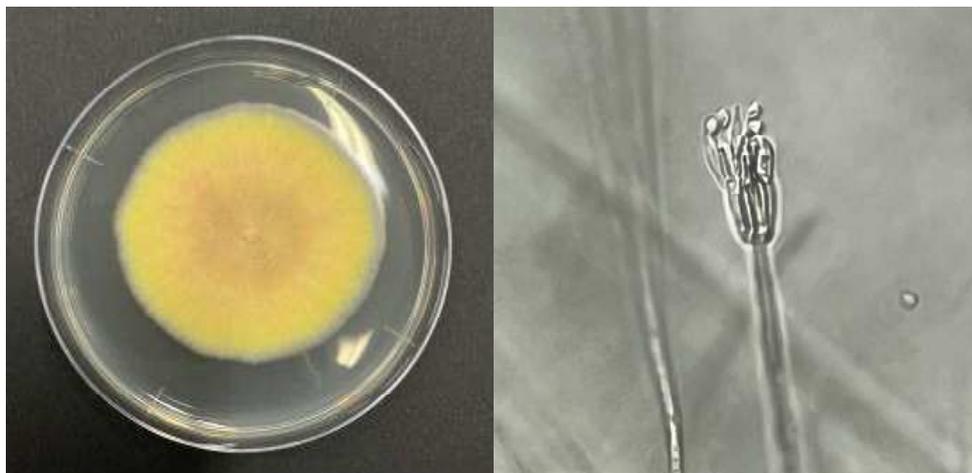


図1 トルコギキョウ青かび根腐病菌 (*Penicillium* sp.) のCYA培地での黄色い菌叢 (左) とペニシリ, フィアライドなどの形態 (右)



図2 現地から採取したトルコギキョウの根の症状
 矢印：带状の褐変症状
 円内：細根脱落



図3 病原菌の土壌接種によるトルコギキョウの生育不良症状
 品種：ボヤージュ1型グリーンver. 2, 菌土壌接種2か月後
 左：無処理 (2株) 右：病原菌接種 (2株)